

“紙リサイクル”
全国小中学生
コンテスト2018

金賞・特別金賞受賞作品 作品集
入賞者一覧



主催

公益財団法人古紙再生促進センター

後援

文部科学省、全国連合小学校長会、

全日本中学校長会、全国市町村教育委員会連合会、

全国小中学校環境教育研究会、読売新聞社、

全国製紙原料商工組合連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、

段ボールリサイクル協議会、日本製紙連合会

入賞者一覧



金賞

作文
小学生部門

兵庫県 宝塚市立宝塚小学校 3年

武田 奈々 「もったいない！」をなくしたい

作文
中学生部門

滋賀県 東近江市立五個荘中学校 2年

足立 堅 資源回収を存続するために

ポスター
小学生低学年部門

神奈川県 その絵の会 2年

金木 来人 リサイクルの4つのおきて

ポスター
小学生高学年部門

山口県 岩国市立灘小学校 4年

尾賀 穂花 すてずにリサイクル

ポスター
中学生部門

大阪府 豊中市立第九中学校 3年

谷 承子 ウマレカワル カミリサイクル



特別金賞

全国製紙原料商工組合
連合会 理事長賞

兵庫県 西宮市立南甲子園小学校 1年

大恵 朱実

おとうさんも
リサイクルできたよ
(作文)

日本再生資源事業協同
組合連合会 会長賞

神奈川県 三浦市立初声中学校 2年

福留 一航

世界の未来を明るく
(作文)

段ボールリサイクル
協議会 会長賞

山口県 岩国市立灘小学校 4年

村中 惺

ひろげようリサイクルのわ
(ポスター)

応募総数：2,609点（応募校数：218校）



銀賞

作文
小学生部門

茨城県 土浦市立東小学校 5年

藤田 明日香

リサイクルで資源を守ろう！

作文
中学生部門

宮城県 利府町立利府西中学校 3年

松浦 元音

どうすればリサイクルに
協力してもらうか？

ポスター
小学生低学年部門

東京都 荒川区立第三日暮里小学校 3年

梅田 莉歩

リサイクルランド

ポスター
小学生高学年部門

福岡県 古賀市立古賀東小学校 4年

中村 伊吹

リサイクルしたら
幸せがもどってくるよ

ポスター
中学生部門

愛知県 刈谷市立依佐美中学校 2年

林 柑太

まって！それもリサイクル



佳作

	部門	都道府県	学校名等	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	千葉県	富里市立富里南小学校	5	吉河 佳鈴	我が家の紙リサイクル
		東京都	東京創価小学校	5	和田 向日葵	紙のリサイクル
	中学生部門	佐賀県	弘学館中学校・高等学校	3	岩永 有加	身近なリサイクル
ポスター	小学生 低学年部門	東京都	アトリエ n	3	菊地 咲伍	紙づくり
		兵庫県	絵画教室 絵かきのたまご	2	稲垣 新汰	紙を大切に
	小学生 高学年部門	北海道	釧路市立大楽毛小学校	5	尾屋 真菜佳	リサイクルの輪をつくろう
		愛知県	名古屋市立大野木小学校	4	由利 音果	紙は資源
	中学生部門	山口県	岩国市立灘中学校	2	川野 茉音	リサイクリング
		福岡県	福岡市立片江中学校	1	松永 紳作	捨てる紙と救う紙

作文小学生部門

金賞

宝塚市立宝塚小学校 3年

武田 奈々

「もったいない！」をなくしたい

今年、わたしのお母さんが、子ども会の役員になりました。わたしの地区の子ども会では、毎月古紙かいしゅうしています。これまでは、習い事がいそがしくて、ほとんどかいしゅうにさんかしていませんでした。でも、今年からは毎月行くようになりました。決められた日に、自治会に入っている人たちが、家の前などに古紙を出してくれます。それを、わたしたちが台車で集めて回ります。五つぐらいのコースに分かれて行きますが、重たいし、夏は暑いし、ちょっと大変だなあと思うこともあります。

わたしは、古紙かいしゅうをするまでは、リサイクルできるのはダンボールと新聞ぐらいかなあと思っていました。でも、かいしゅうしていると、おかしの箱やほうそう紙、教科書なども出していました。それを見て、「こんなものもリサイクルできるんだ。」と気づきました。これまで、知らないで、もえるゴミとしてすてていたものもあったので、「もったいないことをしたなあ。」

と思いました。これからは、ちゃんとリサイクルしようと思いました。

他にも、気づいたことがあります。それは、紙でもリサイクルできないものがあるということです。今月、かいしゅうした後に、みんなで紙コップにお茶を入れて飲みました。飲んだ後に紙コップを見て、「これは、紙としてリサイクルできるかな？」と、みんなで話していました。家に帰って調べてみる

と、古紙にまぜてはいけなものだとわかりました。これがいにも、おいが強い紙なども、まぜてはいけないそうです。知らずにうっかり出すと、せつかくのリサイクルがむだになってしまいます。それも、もったいないなと思います。

これからわたしは、どんなしゅるいの紙がリサイクルできるのか、まぜてはいけなものはなにかを、しっかりおぼえていきたいです。そして、まわりの人にも教えてあげたいです。たとえば、リサイクルできることを知らないで、古紙をすてようとしている人がいたら、教えてあげたいです。それから、どんな紙がリサイクルできるのか、古紙かいしゅう日のお知らせに、絵をつけたらわかりやすいと思います。みんなでぐんべつにくわしくなって、むだをなくしていきたいです。そうしたら、古紙かいしゅうがもっと楽しくなると思います。

古紙かいしゅうがふえると、三つのいいことがあるそうです。一つめは、ゴミがへることで、二つめは、しげんがふえることで、三つめは、エネルギーを使うりょうが少なくなることです。この三つのことは、地きゅうにとつていいことばかりです。しげんを大切にしなければ、地きゅうはどんどん住みにくくなっていくと思います。だからわたしは、これからも古紙かいしゅうをしつかりがんばりたいです。重くて大変な時も、地きゅうのためだということを思い出すようにします。

作文中学生部門

金賞

東近江市立五個荘中学校 2年

足立 堅

資源回収を存続するために

ぼくの町には資源回収活動の日がある。5月と12月に、町内の小中学生は、親と一緒に家の前に出してくれている新聞やダンボールなどを軽トラに積む。軽トラはゆっくり町内を回り、ぼく達は回収用の軽トラを見つけて荷台に積んでいく。資源回収の日は、親と共同作業で、ぼくは年々、母よりも多く新聞やダンボールを運ぶ量が増えていることに、自分でも成長したなと感じている。終わった後は、地域の役員さんが冷たい飲み物を出してくれる。そこで、友達や地域のおじさんやおばさんと話し、最後に軽トラのおじさん達が回収場から帰ってきたら解散となる。これがぼくの町の、資源回収の流れだ。ぼくは、この資源回収が好きだ。たくさん働いて、最後に冷たい飲み物をみんなで飲むのが気持ちいい。ふだんは話さない地域の人も話せる。そして何より、一回の資源回収で、新聞やダンボールが約30万円ほどのお金になって、学校に返ってくるのだ。そのお金は、学校で必要なものを買ったり、地域の安全対策に使われている。無駄のない、なんていい活動だと思う。しかし、この資源回収が廃止する方向に話が進んでいると聞いた。理由は、少子化により、町内すべてを回りきれなくなってきたからだ。ぼくの町は田舎なので、高校を卒業したら、多くの人が都会へ出る。だから、若い人が少ないのだ。小学校

と中学校のクラスも、以前よりは1〜2クラスずつ減っている。軽トラを運転する人、重い物を運ぶ人、人手がたくさん必要な資源回収は、子供が少なく、若い人がいない町には負担が大きすぎるのだ。けれど、ぼくはこの活動をなくすのは、絶対に嫌だ。疲れるけれど、達成感がすごくあって、自分達で働いて買ったものが学校に置いてあると嬉しい。こんな体験をずっと先の子供達にも残してあげたいと思っている。だから、資源回収が廃止にならないように、ぼくなり考えたことがある。一つは、人手が少ないなら、小中学生対象の範囲を、幼稚園から高校生まで広げることだ。そうすれば、もう少し人は集まると思う。もう一つは、60才以上の方に手伝ってもらう方法だ。今の対象だと、小中学生とその親だけだが、おじいちゃん、おばあちゃんも含めてはどうだろうか。もちろん、たくさん重い物を持ってない人もいるだろう。でも少しずつをみんなに分けたり、台車を使えば解消できるのではないだろうか。おじいさんが軽トラを運転して、今まで運んでいたおじいさん達が荷物を回収する方に回ってもいい。まだまだ元気な60才以上の人はたくさんいるはずだ。そうすれば、資源回収後の一服は、より多くの世代の人と話せて、きっと楽しくなるだろう。ぼくは今、真剣に資源回収廃止をとめる案を模索している。

ポスター小学生低学年部門

金賞

その絵の会 2年

金木 来人

リサイクルの4つのおきて



ポスター小学生高学年部門

金賞

岩国市立灘小学校 4年

尾賀 穂花

すてずにリサイクル



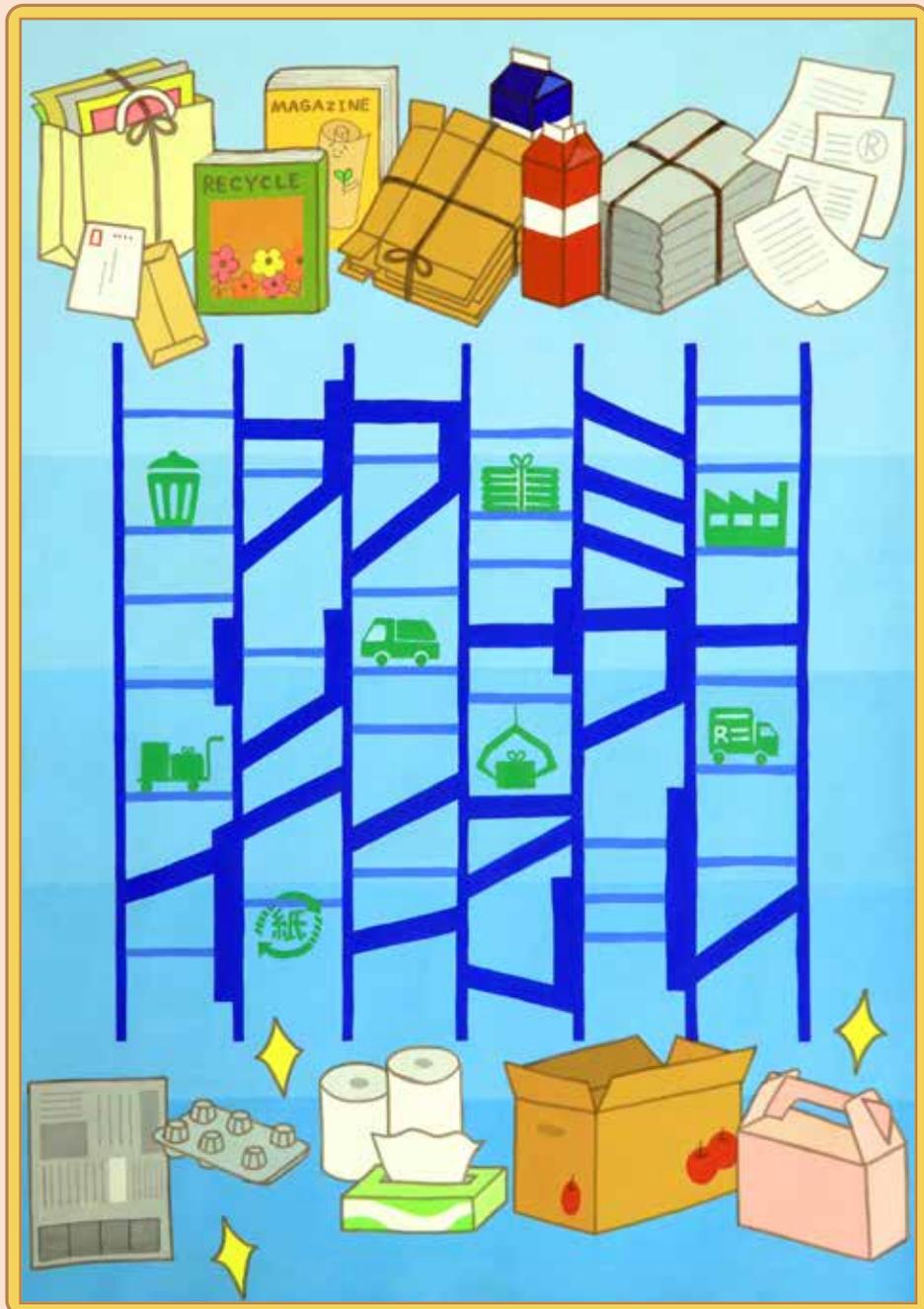
ポスター-中学生部門

金賞

豊中市立第九中学校 3年

谷 承子

ウマレカワル カミリサイクル



特別
金賞

西宮市立南甲子園小学校 1年

大恵 朱実

おとうさんもリサイクルできたよ

わたしのおとうさんは、かみをすぐに「ゴミばこ」にすてます。わたしは「リサイクルできるかみはすてたらだめだよ。」といいました。おとうさんは「めんどくさいもん」といいました。わたしのいえでは、リサイクルできるかみはげんかんよこにあつめています。でもおとうさんは、げんかんにいくのがめんどろなので「ゴミばこ」にすてます。

わたしはおとうさんに、かみリサイクルがだいじだとおしえてあげました。するとおとうさんは「わかったよ」といってくれました。でもつぎのひもおとうさんは、「ゴミばこ」にすてていました。わたしはとてもかなしくなりました。それでわたしはかみがえしました。

「ゴミばこ」のよこにリサイクルのかみを

いれるふくろをおいたら、おとうさんはいれてくれるかなとおもいました。おとうさんにも「つぎからはここにいれてね」とたのみました。

—しゅうかんど、ふくろはいっぱいになりました。わたしはとてもうれしかったです。わたしはおとうさんに「ありがとう」といいました。

はじめはめんどろがついていたおとうさんが、「ゴミばこ」のよこにリサイクルのふくろをおいただけで、かみを「ゴミばこ」にすてなくなりました。こんなかんたんなほうほうでリサイクルできるようにになりました。ちょっとしたくふうで「ゴミ」をへらせて、リサイクルはできます。これからもっとくふうして、かみリサイクルをいっぱいしたいです。

特別
金賞

三浦市立初声中学校 2年

福留 一航

世界の未来を明るく

私は、使用済みの紙類の集め方についてのアイデアを考えてみました。

私は、紙類を集めるのに欠かせないポイントは2つあると考えます。1つ目は、国民が集まる場所に集紙所(しゅうじじょ)を設置し、誰でも簡単にリサイクルできる環境をつくることです。私の家族でも、かなりの量の不必要なプリントやダンボール、紙パックが毎日のように出ます。しかし、紙類を集めている場所を知らないため、すべてを一般ゴミとして排出しています。2つ目のポイントは、「紙類のリサイクルに協力すると得をする。」ということ国民にアピールすることです。やはり、人間は自分が得をすると聞くと、やる気が出るものです。

しかし、これらのポイントを全てクリアするのはなかなか難しいことです。そこで私が提案するのは、全国の小中学校で集紙(しゅうじ)を行うというものです。具体的な集紙方法を説明すると、各小中学校に、大雨や大地震などの災害時に避難所で使用するダンボールの仕切り板と簡易ベッドを置き、その道具の使用方法和どのような時に使うのかを説明します。そして、その横に紙用、ダンボール用、紙パック用の合計3つの集紙ボックス

を設置し、そのボックスの中に使用済の紙類を入れてもらいます。また、そのボックスに「このボックスいっぱい紙類を集めると、この仕切り板とベッドが何個ずつつくれます。」と記入し、生徒や児童に興味を持ってもらいます。そうすることで、より一層、紙類を集めることができます。

このように、小中学校で集紙を行えば、誰でも気軽にリサイクルに協力できます。しかも、リサイクルした後、どのような物として利用しているかを伝えることで、「災害時に自分達が楽に生活できる。」つまり、自分達が得をすると伝えることができます。

全国の小中学生は約一千万人います。もしこの方法で集紙を行い、一人が5枚でも紙類をリサイクルすれば、五千万枚もの紙類を集めることが可能です。

現在の世界では、深刻な温暖化現象が起きています。この問題を解決するには二酸化炭素を減らすこと。二酸化炭素を減らすには、植物の無駄な伐採を少しでも減らすこと。無駄な伐採を減らすにはリサイクルをすることが一番だと思えます。ぜひ、効率的かつ手軽なこの方法でリサイクルを行い、限りある資源を大切にしたいと思えます。

段ボールリサイクル協議会 会長賞

特別
金賞

岩国市立灘小学校 4年

村中 惺

ひろげよう リサイクルのわ





全国小中学生

“紙リサイクル”
コンテスト2018

金賞・特別金賞受賞作品 作品集
入賞者一覧

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2018
金賞・特別金賞受賞作品 作品集

企画・発行

公益財団法人古紙再生促進センター

<http://www.prpc.or.jp/>

〒104-0042 東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階

TEL. 03-3537-6822 FAX. 03-3537-6823